２－３－２解答例（統制活動のみ）　IT業務処理統制のＲＣＭ

ケーススタディ

会社名	A社
決算期	平成〇〇年3月
場所	本社
取引サイクル	販売サイクル
ファンクション	受注
関連する勘定科目	売上、売掛金

作成者・作成日	◇◇◇◇　2006/12/23
確認者・確認日	□□□□　2007/1/24

大：統制活動の結果のリスクが大きい場合（重大な欠陥など）
中：結果のリスクが無視できない場合（不備がある）
小：結果のリスクが小

リスク	統制目標	留意事項	No.	主要な統制活動	自動化 手作業	頻度	要件（アサーション） 網羅性	実在性	期間配分	権利と義務	評価	表示	整備 運用	統制評価手続	評価並びに検出事項 （検出事項がある場合、その影響）	調書番号	評価結果
財務情報に漏れや重複が発生する	完全性（網羅性）	全ての受注は漏れなく重複なく記録されているか	17・19	EDIで受信する受注データについては、JCA手順のプログラムによりコントロールトータルも含めた送受信チェックが行われる。	自動	日に何度も	〇	NA	〇	NA	NA	NA					
			20	受注データはすべて受注番号（連番）が自動採番される。	自動・手動	日に何度も	〇	NA	NA	NA	NA	NA					
			23・26・27	エラーが生じた場合はいったんエラーファイルに記録され、修正入力により受注ファイルに書き込まれる。 修正入力完了後、情報システム部が受注エラーファイル上にデータが残っていないことを画面参照により確かめる。	自動・手動	日に何度も	〇	NA	NA	NA	NA	NA					
			29・31	引当不可能な受注データについては、受注ファイル(ジャーナル)に引当済みのフラグのないものの有無が把握され、未引当データは受注残ファイルに書き出されるとともに、受注残チェックリストが強制出力される。 受注残チェックリストに基づき、得意先と交渉して受注変更依頼書を起票して入力すると、受注変更チェックリストが出力されチェックされる。	自動	日	〇	〇	NA	NA	NA	NA					
			34	ＦＡＸによる受注について、注文書受信時に当日の連番を記入し、受注入力処理後,FAX返信後に枚数チェックに使用している	手動	日に何度も	〇	〇	NA	NA	NA	NA					
			38	FAX受注の入力後、注文伝票が出力され注文書と照合され、注文書に受注番号を記入した後、上長のチェックと押印を得ている。	自動・手動	日に何度も	〇	〇	NA	NA	NA	NA					
財務情報が正確に記録されない	正確性	受注の登録に誤りがないか	17・19	EDIで受信する受注データについては、JCA手順のプログラムによりコントロールトータルも含めた送受信チェックが行われる。	自動	日に何度も	〇	NA	〇	NA	NA	NA					
			21・22・23・25	ＥＤＩで受信した受注データは取り込み処理で、得意先マスタ、商品マスタとチェックをし、エラーについてはエラーファイルが作成され、エラーリストが強制出力される。エラーデータについては、得意先と連絡を取って修正内容を確定した後、修正入力を行う。エラーファイルはデータが修正されるまで保存される。	自動	日	NA	〇	NA	〇	NA	NA					
			29・31	引当不可能な受注データについては、受注ファイル(ジャーナル)に引当済みのフラグのないものの有無が把握され、未引当データは受注残ファイルに書き出されるとともに、受注残チェックリストが強制出力される。 受注残チェックリストに基づき、得意先と交渉して受注変更依頼書を起票して入力すると、受注変更チェックリストが出力されチェックされる。	自動	日	〇	〇	NA	NA	NA	NA					
			36・37	ＦＡＸ受注では、注文書からの入力画面にエディットを掛けている 単価は商品マスタの価格データが自動で計上されるため、手入力できない	自動	日に何度も	NA	〇	〇	〇	NA	NA					
			38	FAX受注の入力後、注文伝票が出力され注文書と照合され、注文書に受注番号を記入した後、上長のチェックと押印を得ている。	自動・手動	日に何度も	〇	〇	〇	〇	NA	NA					

©2007　加藤俊也、清水惠子、中村元彦

２－３－２解答例（統制活動のみ）　IT業務処理統制のＲＣＭ

ケーススタディ

会社名	A社
決算期	平成〇〇年3月
場所	本社
取引サイクル	販売サイクル
ファンクション	受注
関連する勘定科目	売上、売掛金

作成者・作成日	◇◇◇◇　2006/12/23
確認者・確認日	□□□□　2007/1/24

大：統制活動の結果のリスクが大きい場合（重大な欠陥など）
中：結果のリスクが無視できない場合（不備がある）
小：結果のリスクが小

リスク	統制目標	留意事項	No.	主要な統制活動	自動化 手作業	頻度	網羅性	実在性	期間配分	権利と義務	評価	表示	整備 運用	統制評価手続	評価並びに検出事項 （検出事項がある場合、その影響）	調書番号	評価結果
正当でない財務情報が記録される	正当性	正当でない受注が登録される	21	取込処理の際に、得意先マスタに登録のないものはエラーとなる	自動	日	NA	〇	NA	〇	NA	NA					
			22	取込処理の際に、商品マスタとEDIデータの価格が照合され不一致のデータはエラーとなる	自動	日	〇	〇	NA	〇	NA	NA					
			18・33・41・44	EDI受注の取込処理と修正入力、ＦＡＸ受注の受注入力、緊急出荷の場合の倉庫からの受注入力は、担当者のＩＤとパスワードで制御されている	自動	日に何度も	〇	〇	〇	〇	〇	NA					
			24・28・41	受注エラーリストの修正、受注残データの修正、緊急出荷の指示などは、入力部署ではない、営業部で確定している。	手動	日に何度も	〇	〇	〇	〇	〇	NA					
財務情報が最新ではなく、継続的に使用できない	継続性	受注ファイルが不当に変更される	18・33・41・44	受注ファイル、在庫ファイル、出荷指示ファイルへの変更は、担当者のＩＤとパスワードで制御されている	自動	日に何度も	〇	〇	〇	〇	〇	NA					

アサーションに〇が記載されている場合、当該業務に該当するリスクが存在していることを示している（該当しないアサーションにはＮＡを記載している）

©2007　加藤俊也、清水惠子、中村元彦